

作曲家パク・ミョンフン特別講演会

2016. 5. 28 (土) 17:00 Start (open 16:30)

このたび、Buncademy では、2016 年度武満徹作曲賞ファイナリストに選ばれている、韓国の作曲家パク・ミョンフン氏をお迎えし、彼の音楽と音楽思想についてお話を聞く特別講演会を企画いたしました。パク氏は、これまで世界の多数のコンクールでの入賞経歴があり、また、作曲における楽器の慎重な観察と工夫、繊細で丁寧な扱いによる音色の創出は絶賛されるなど、すでに韓国やドイツなどではその独創性が認められている、実力派作曲家です。本講演は、現代音楽の次世代を背負っていく作曲家パク・ミョンフン氏の音楽世界を覗ける貴重な機会であり、且つ、韓国に居住している彼の自作の語りを日本でお伺いできる滅多にないチャンスです。講演は日本語の通訳付きで、本講演関連のすべての資料およびお知らせなどには日本語と韓国語の両方を記載・紹介します。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

■ 講師：パク・ミョンフン / Myunghoon PARK



作曲家パク・ミョンフンは、漢陽大学校(ソウル)作曲科 卒業後、ドイツのケルン音楽大学にて作曲ディプロマ課程、器楽作曲科および電子音楽作曲科 修士課程を修了。ロベルト・シューマン音楽院(デュッセルドルフ)の最高作曲課程を最高位の成績で修了。ヨハネス・シェルホルン(Johannes Schöllhorn)、ホセ・マリア・サンチェス=ヴェルデュ(José M. Sánchez-Verdú)、レベッカ・サンダース(Rebecca Saunders)、ミハエル・バイル(Michael Beil)、ヨルク・ヘラー(York Höller)、イ・ゾングの各氏らに師事。彼はしばしば自然現象とその変化過程や動き、また美術作品から靈感を得て作曲をしている。彼の作品では集中的な対照と反復、そして小さい単位としてのプロセス方式が主に見受けられる。また彼は、音色を重視した作品創作に力を注いでいる。

エリザベート王妃国際コンクール作曲部門ファイナリストとして入賞(ベルギー)、中央コンクール 1 位(韓国)、ガウデアムス国際音楽週間 作曲コンクール入賞(オランダ)、国際尹伊桑(ユン・イサン)作曲賞大賞(韓国)など、多数のコンクールでの入賞経歴がある。2016 年度武満徹作曲賞のファイナリストとして選ばれ、5 月 29 日に本選演奏会の開催が予定されている。現在は、漢陽大学校にて作曲を教えており、現代音楽を専門とするアンサンブル Ensemble Eins の作曲家 兼 芸術監督として活動している。

■ 通訳・翻訳：沈 孝静 / Hyojung SHIM [人文科学博士(PhD in Musicology) / Buncademy 代表]

【会場】BUNCADEMY (東急東横線 学芸大学駅 東口から徒歩 1 分)

〒152-0004 東京都目黒区鷹番 3-1-3 リエール鷹番 303 号

【受講料】全対象 1,000 円

【ご予約／お問い合わせ】 info@buncademy.co.jp